

市制70周年記念事業 『出張！なんでも鑑定団 in 宝塚』の詳細 開催する経緯と費用の内訳（消耗品費、印刷製本費、宅配業務委託料、会場使用料、それぞれの積算根拠）

企画経営部 企画政策課

1 開催する経緯

市制70周年記念事業については、庁内各部局や若手職員を中心とした「宝塚市制70周年記念事業ワーキング・グループ」（以下「ワーキング・グループ」という。）からの提案に基づき、主に室長級職員で構成する「宝塚市制70周年記念事業企画委員会」で検討を進めてきました。

「出張！なんでも鑑定団in宝塚」の公開収録については、70周年ならではの事業としてワーキング・グループ等で検討したものであり、老若男女問わず広く市民が参加できること、全国放送のテレビに出演するという機会を提供できること、本市にゆかりのあるお宝やそれにまつわるエピソード等を発表いただくことで本市の魅力を広く発信できること等のほか、番組の中で本市の概要紹介が1分程度放映されることから、全国の方に本市をPRできる機会となること等の理由から実施するものです。

2 費用の内訳

番組制作に係る費用は番組側が全て負担し、本市が負担する費用は開催に係るチラシの印刷・配布費用、会場借上料等のみとなります。内訳は下記のとおりです。

(1) 消耗品費（200千円）

- ・会場設営に係る費用（お宝を覆う布、舞台上看板、会場内外案内看板等）
- ・事務用品（観覧者配布用手提げビニール袋、アンケート用使い捨てペン等）

(2) 印刷製本費（288千円）

- ・チラシ作成：2.3円×114,000部×1.1＝288,420円≒288,000円

(3) 宅配業務委託料（872千円）

- ・チラシ配布（広報誌と併配、単価契約）：8円（税込）×109,000部＝872,000円

(4) 会場借上料（374千円）

※会場はベガ・ホールを想定

※会場及び各会議室は前日の午後から当日（終日）まで借り上げ予定

- ① 会場、リハーサル室（お宝保管・撮影）、会議室（出演者更衣室）、控室1（MC・鑑定士控室）、控室2（依頼人控室）借り上げ：252,000円

- ② その他物品等（プロジェクター、映写スクリーン、金屏風、金屏風移動費用等）借り上げ：121,400円

合計 373,400円≒374,000円

※①の252,000円及び②のうちプロジェクター等の借上料19,000円の合計271,000円は減免対象となる予定です。